

# 護憲派動く

## 野党議連「保守系と連携も」

自民党や日本維新の会など勢いを増す改憲勢力に対抗し、憲法を守る姿勢を打ち出す動きが出始めた。生活の党は24日、改憲の発議要件を定める96条の堅持を決定。改憲に前向きな議員もいる民主党も含めた野党の護憲派は、議員連盟を立ち上げる。立ち位置を明確にして、参院選で改憲に反対する層を取り込みたいと考えた。

「どういう国づくりをするかが一向に見えないまま、改憲という言葉が飛び交っている」

24日夕、国会内で開かれ

た生活の党の総合政策会議。小沢一郎代表は批判を強め、会議では「96条は堅持する」という方針を決めた。安倍晋三首相は23日の参院予算委員会で、「7月の参院選においても堂々と96条

の改正を掲げて戦うべきだ」と表明。96条改正が参院選の争点となるなか、生活は自民党など改憲勢力と一線を画す姿勢を示した。

維新も加えれば衆院では改憲勢力が3分の2以上を占める一方、改憲反対の受け皿は続々と立ち上がる。民主、社民などの有志議員も25日、国会内で96条改正に反対する議連「立憲フ

### 生活「96条堅持」

ォーラム」の設立総会を開く。民主の近藤昭一、辻元清美両衆院議員らを中心に結成。当初は護憲派の結集を計画していたが、「改憲には賛成だが96条改正には慎重」という立場の議員とも幅広く連携を目指す。

辻元氏は「96条の改正反対を軸に保守系議員との連携にもつながりたい」と語る。野中広務元官房長官ら保守系の論客を講師に招いて裾野を広げたい考えだ。

民主、みんな、生活、共産、社民、みどりの風の各党有志も25日、「個人の尊重」など国民の権利を定め

た憲法13条を議論する議連を立ち上げる。自民党の憲法改正草案では13条改正も明記されており、首相の改憲姿勢を批判する。

民主党は25日の憲法調査会で96条の議論に入る。党内には改憲・護憲両派が混在するが、海江田万里代表は96条改正について「ただちに緩和する結論を出すのは早すぎる」と慎重な姿勢。2005年にまとめた

党の憲法提言をたたき台に意見集約を進めるが、改憲に慎重な党幹部は「参院選には96条堅持で臨みたい」と話している。

一方、自民党内の「穏健派」の存在感は薄れる。「平和主義という宏池会の歴史的哲学を全うできたことを一番の誇りに思う」。都内で

**憲法改正に対する主な党首の立ち位置**

**改憲に積極的**

**維新・石原共同代表**  
 現行憲法が日本人のゆがんだ価値観を作った。変えなければ国が沈む  
 4月4日、朝日新聞に

**安倍首相**  
 96条を変えたい。憲法を国民の手に取り戻すことから始めたい  
 4月21日、街頭演説

**みんな・渡辺代表**  
 改正すべきだが、政党改革や公務員制度改革が先行しなければならぬ  
 4月19日、記者会見

**改憲に消極的**

**公明・山口代表**  
 どう改正するか国民は戸惑っている。議論が熟しているとは思えない  
 4月23日、記者会見

**民主・海江田代表**  
 自民党は憲法が国を縛るという観点が欠けている。立憲主義の憲法にしないと  
 4月21日、記者団に

**生活・小沢代表**  
 原則は普遍的原理として守っていくべきだ。色々な条項は、より良い形にする  
 4月24日、党の会合

**社民・福島党首**  
 96条改正は9条を変えて戦争の出来る国にするもの。認められない  
 4月24日、記者会見

**共産・志位委員長**  
 参院選で改憲反対を国民の多数の声にする。改憲勢力を包圍していく  
 4月11日、記者会見

の各門派派閥宏池会のパティーで、前会長の古賀誠氏はこう鼓舞した。だが、古賀氏の後を継いだ岸田文雄外相は「宏池会としてしっかりと外交経済政策を練り上げ自民党の幅広さを示したい」と述べることで、首相の姿勢への言及は避けた。派閥のベテラン議員は「総安倍派状態だ」と嘆いた。